

# ！もしものとき

子どもたちと「もしものとき」を確認しておきましょう。

## 道に迷ったら

- 覚えている場所まで引き返す
- 地図で現在地を確かめる



## 遭難したら

- 冷静になる
- むやみに動きまわらない
- 広く安全な場所にうつる



## 指導者の方へ

事前にスタッフで想定されるトラブルを話し合い、対応方法や救急セット、連絡網などを準備しておきましょう。

## ケガや病気になったら

- 必要で、できる範囲の応急手当をする
- できるだけ早く大人に連絡する(119番)



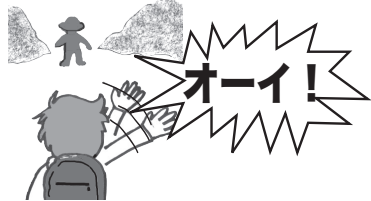
## 雷がなりだしたら

- 金属類を外す
- 岩陰やくぼみに逃げてしゃがむ  
\*高い木の下は危険



## もし事故に会ったら

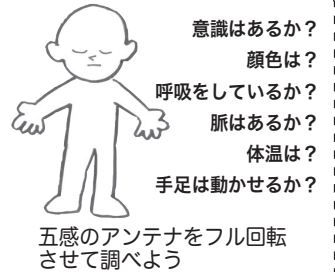
「あわてない」「立ち止まる」「どうしたらいいか、落ち着いて考える」そして行動。



- まず自分自身の安全を確保しよう。
- 周囲の状況を把握し、次の事故を起こさないようにしよう。
- 誰か協力してくれる人をさがそう。

## 人がたおれていたら まず、よびかけて！「大丈夫ですか？」

- 意識があるのか調べよう。意識があるときは、どうして事故にあったかを聞くことも大切だ。すぐに手当が必要なものとを区別しよう。

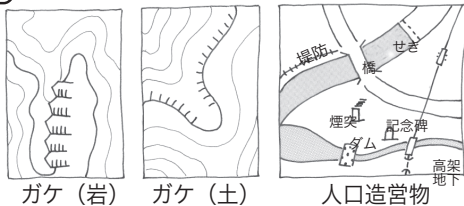


だいじょうぶ?!

- 意識がない時や出血がひどい時など119番や助けを呼ぼう!
- いつ・どこで・だれが・なにを・どんな状態か? わかる範囲でメモを忘れずに!

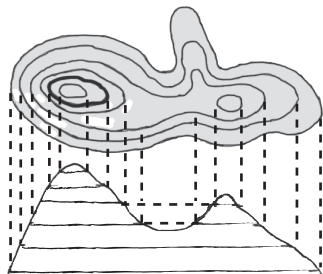
## 地図の読み方

### 記号例



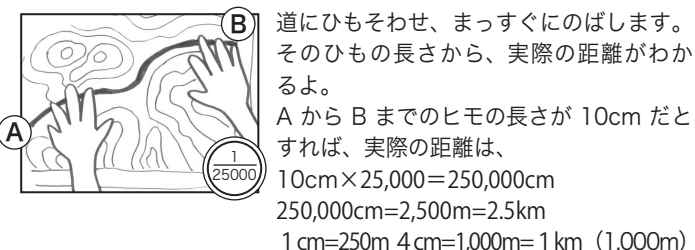
### 等高線

太い等高線は50mおき、細い等高線は10mおきにひかれています。等高線には数字(標高線)が書いてあります。



等高線の幅が狭まっているところは傾斜がきつい!

### 距離 2万5千分の1の地図

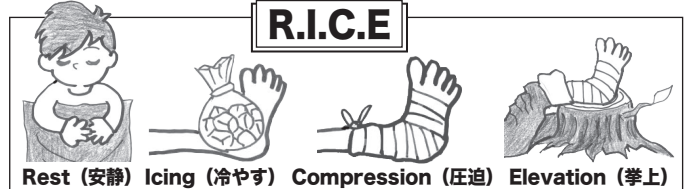


## ケガをしたら

- 手や足が動かせるか、ゆっくり動かしてみる。
- 血が出ていたら、清潔なガーゼなどで傷をおさえて血を止めよう。傷を心臓より高くすると、とまりやすくなるよ。
- ねんざ、脱臼、骨折の疑いがあるときは、内出血したりして、はれてくるので、まず冷やそう。できるだけ動かさないこと。



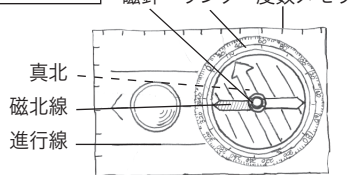
## R.I.C.E



- 毒ヘビ、毒虫、毒草、毒のある魚にかまれたときはあわてず、落ち着いて行動して医師に診てもらおう。
- 春・夏は特に暑さ対策が大切だ。必ず帽子をかぶり、通気の良い服を身につけよう。水分の補給を早めに行い、休憩をじゅうぶんにとろう。

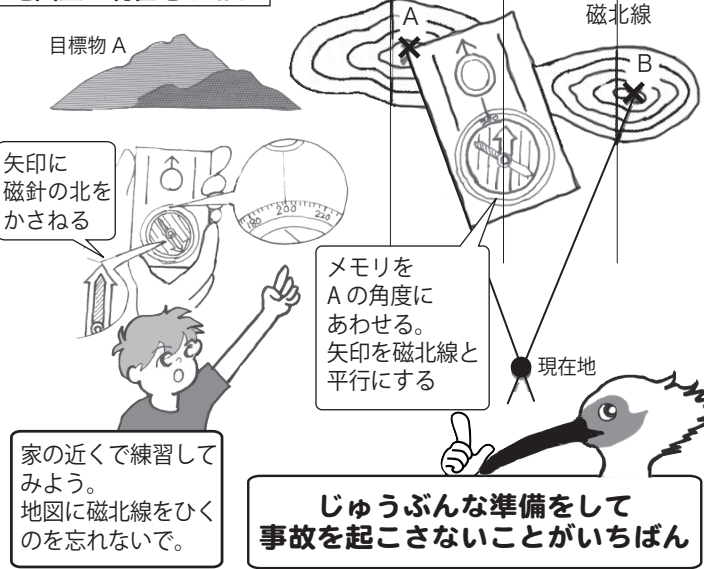


### 磁北線



磁石の指す北は、地図にかかれた実際の北とは6°50'西へずれています。これを磁北線といい、地図上に磁北線を書いておくと便利。

### 地図上で現在地を知る



じゅうぶんな準備をして 事故を起こさないことがいちばん